

研究紹介：小林

東京大学大学院 新領域創成科学研究所 複雑理工学専攻
非線形物理学研究室

スタッフ



- 郡 宏 教授
- 研究分野：非線形物理学・複雑系・力学系・同期現象・生物リズム

「モデリングと理論の構築を通してこの世界を解き明かす」



- 小林 亮太 准教授
- 研究分野：データサイエンス・計算論的神経科学・ウェブ科学

「データサイエンスで複雑システムを理解する」



- 泉田 勇輝 講師
- 研究分野：非平衡熱統計力学・非線形動力学

「複雑な動的システムのモデリングから非線形・非平衡系の基礎法則を探求する」

研究分野

非線形数理・複雑系科学

$$\frac{d\phi_i}{dt} = \omega_i + \sum_j \Gamma_{ij}(\phi_i - \phi_j)$$

非線形・非平衡物理学

ネットワーク科学

理論神経科学

計算社会科学
データサイエンス

数理生物学

$$\frac{dX_i}{dt} = v \frac{K^m}{K^m + Y_i^m} - r X_i$$

小林の研究テーマ

$$\eta_{\max P} = 1 - \sqrt{\frac{T_c}{T_h}}$$

研究紹介

動機：身近だが複雑な現象（生命、社会など）を理解したい。

アプローチ：時系列分析、数理モデリング、シミュレーション

対象：脳、インターネットなど。

研究紹介 (アプローチ)

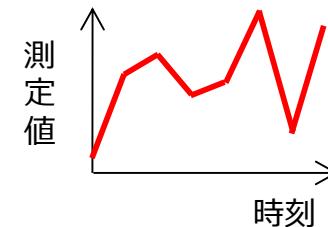
動機：身近だが複雑な現象（生命、社会など）を理解したい。

アプローチ：時系列分析、数理モデリング、シミュレーション

対象：脳、インターネットなど。

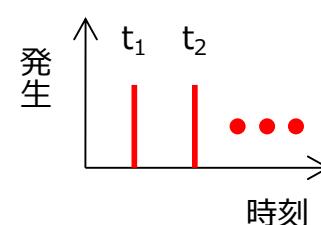
時系列

(通常の)時系列



例：センサーデータ
株価、為替…

イベント時系列



例：Webデータ
神経スパイク
地震

研究紹介 (対象)

ミクロ
(素子)

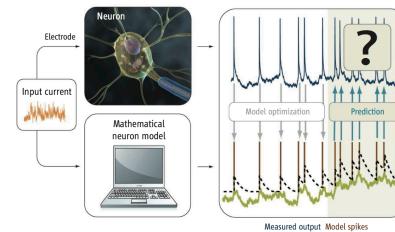
マクロ
(集団)

動機：身近だが複雑な現象（生命、社会など）を理解したい。

アプローチ：時系列分析、数理モデリング、シミュレーション

対象：脳、インターネットなど。

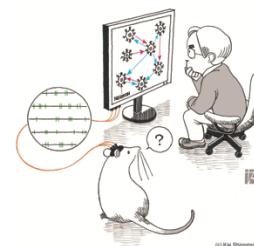
脳



ネット



どれだけ
拡散する？



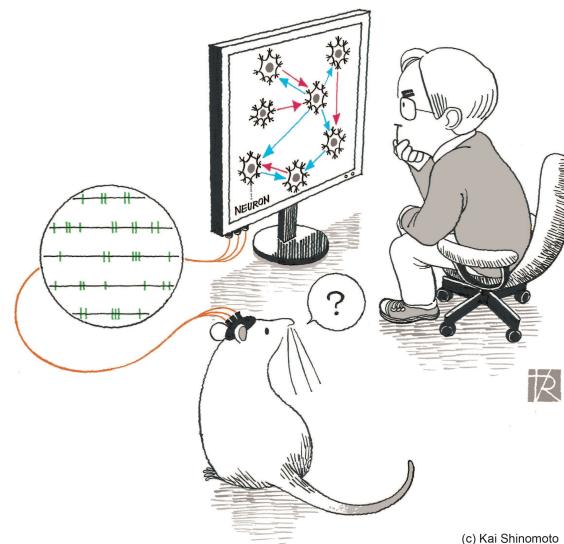
COVID-19 - 2020年5月11日
史上初 ⚾️ プロ野球オールスターゲーム中止決定
日本野球機構（NPB）は11日、7月に予定されていたプロ野球オールスターゲームの中止を決定しました。中止は昭和26年に始まってから史上初のことです。また、開幕については「来月の半ば、下旬」を目指すことです。
@livedoornewsさんの画像

過去の研究①

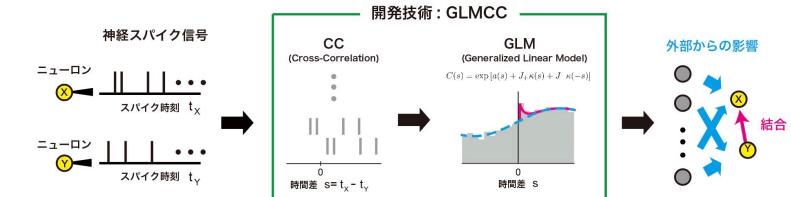
脳科学の データ分析技術



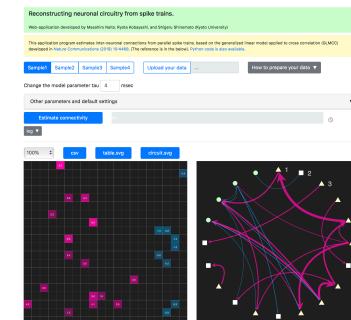
神経結合を推定する



数理モデル



Webアプリ



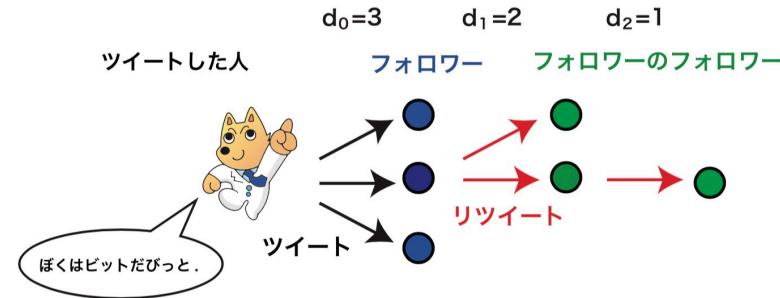
(Thanks to 内藤雅博君)

Kobayashi et al., Nature Commun., 2019

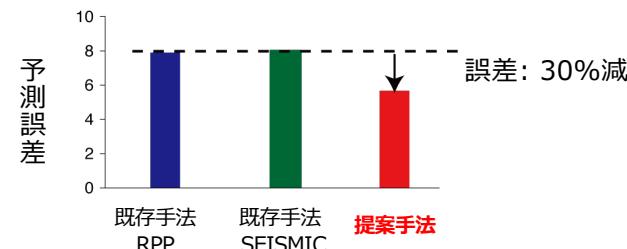
過去の研究②

ネット上の
情報の流れの
数理モデル化

ツイートの拡散



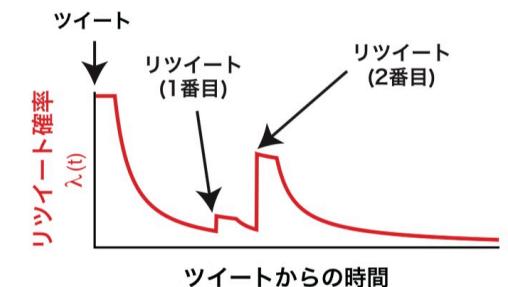
予測精度



Lambiotte

数理モデル: TiDeH

$$\lambda(t) = p(t) \sum_{i:t_i < t} \frac{d_i \phi(t - t_i)}{\text{リツイートする確率}} \frac{1}{\text{ツイートを覚えている人の数}}$$

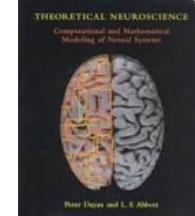


Kobayashi and Lambiotte, AAAI-ICWSM, 2016

参考文献

研究分野や考え方を
知る上での参考書

- 理論神経科学
Theoretical Neuroscience (Dayan & Abbott)



- データ分析、モデリングの方法論
ベイズモデリングの世界 (伊庭幸人著)
- インターネットの数理モデリング
? ? ?



研究室への 適性・ 必要スキル

• 以下の 1つでも当てはまる人は、ぜひ当研究室を検討して下さい！

- 自然・生命は美しい・不思議だ・楽しい・わかりたい
 - 数理モデルが好き
 - 理論が好き、計算が好き
 - シミュレーション、プログラミングが好き
 - データが好き。データから仕組みを探りたい。
- 研究の必須スキル
- 理数系の学部2年生までの数学、特に、微分積分、線形代数。
 - 解析学（微分方程式、ベクトル解析、フーリエ解析）も必要。
 - 物理学は前提としません。しかし、力学、解析力学、熱・統計力学、物理数学などの知識や、計算力があればmuch betterです。
 - プログラミングはそれほど難しくないです

確率過程(点過程)、統計科学、機械学習なども必要かも

小林の特徴

- 数理、統計とデータの中間という立ち位置で研究を進める。
- ネット上の言論活動の数理モデリングをしている研究者も少ない。
- 海外研究者との知り合いを増やすべく努力中。

主な共同研究者
(海外)



Richmond
(NIH)



Grabowicz
(UMASS)



Lambiotte
(Oxford)



Dießmann
(Julich)



Lansky
(CAS)



Kostal
(CAS)



- 比較的若い。健康(と思っている)。
- 食べることが好き。お酒も楽しむ。(アルハラしません)
- 面白いことも好き。が、たまにスベってしまう。

最後に

- ・興味を持ったら、気軽に問い合わせください。
- ・いろいろ雑談しましょう。（ただし 6/10まで）

小林のメールアドレス

r-koba あっと k.u-tokyo.ac.jp